

長崎港 防衛秘密兵器「捨足軽」

いわした てつ のり

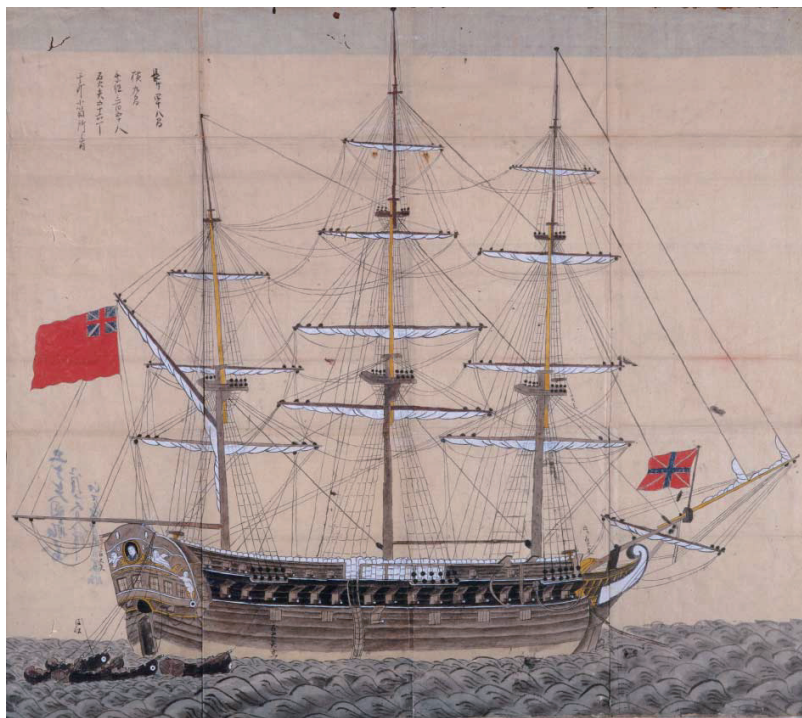
■ 講師: 岩下 哲典

2026年2月21日(土) 14:00~16:00

Zoomにて開催 (ルームオープン 13:30)

19世紀初頭、長崎で起きたフェートン号事件は長崎に深刻な影響をもたらしたことはつとに言われている。喫緊の問題は、進んだ西洋の兵器に対して、有効な武器が、日本側にほとんどないことである。先人たちはどうしたか。「捨足軽」なる秘密兵器を編み出した。

本報告では、「捨足軽」とは何か、なぜこうしたことが考案されたのか、「捨足軽」は利用されたのか、有効だったのか、その終焉は？など、歴史の中に消えた「捨足軽」を呼び起こしてみたい。



フェートン号の図 (『崎陽録』長崎歴史文化博物館蔵) Public Domain



長崎の港と湾の眺望 (ルートヴィヒ・ミハイル・ナーデル作 九州国立博物館蔵)

出典: 国立文化財機構所蔵品統合検索システム

https://colbase.nich.go.jp/collection_items/kyuhaku/YA4

- 関心をお持ちの方ならどなたでもご参加いただけます。メールでお申し込みください。

※希望者多数の場合は抽選とさせていただきます。

お申込みいただいた方には2月18日(水)までにご連絡いたします。

- 会員にはメールでご案内をお送りしています。

メールが届いていない方は、右の申込先までお問合せください。

■ 申込〆切: 2026年2月17日(火) 正午(12:00)

■ 申込先: kaijishi.web@gmail.com (担当: 大野)

メールの件名を「日本海事史学会 Web 例会申し込み (非会員)」として、本文にはお名前をお書きください。

[今後の例会 開催予定日: 3月21日(土) Web・4月25日(土) Web・5月23日(土) Web]

日本海事史学会は、海事一般に関する歴史・法律・民俗・水産・考古・船舶・航海・海運など、海事史だけにとどまらずひろく海の人文、社会科学等あらゆる分野に関心を持つ学界や在野の研究者の方々の交流をはかる総合研究の“場”です。

【主な活動】専門学術誌『海事史研究』の発行(年1回)／総会(年1回)・例会(8月と総会開催月を除く年10回) など

日本海事史学会 The Japan Society for Nautical Research

■ ご入会随時受付中

<https://kaijishi.jp/>